



エコ・カレッジ通信は毎月(第 3 火曜日)定期開催される北海道 GPN エコ・カレッジカフェでの学生・企業の環境活動等の取組事例を紹介します。今回第 9 号はエコ・カレッジカフェ第 9 回目(9 月 15 日、会場アースカフェ・インザループ、参加者約 30 人)の発表内容を掲載します。

## 北大映画館プロジェクト 2009 実行委員会

『クラークシアター2009 を通じた環境活動』  
(副実行委員長兼営業部長)  
北海道大学教育学部 3 年 桑原 真希さん

### 北大映画館プロジェクトとは？

- ・2006 年に発足した、学生団体
- ・昔、大学に存在した映画館をもう一度復活させることが目標
- ・大学に映画館があることの意義を伝えるため、秋に学生や市民に開放した期間限定の映画館「CLARK THEATER」を運営



### 活動理念

#### 1. 市民対話

学内映画館の存在を通して、大学を市民との交流の場とし、地域に根ざした映画館をつくる。

#### 2. 学生挑戦

企画から運営まですべて学生で行うことで、大学では学べない貴重な社会的活動となる。

#### 3. 映像教育・映像文化の振興

一般の映画館では上映しない短編映画や単館系の作品を市民の方々・学生の目に触れさせ、札幌市の未来の映像・芸術文化の発展に貢献。

### CLARK THEATER とは？

**開催時期** 2009 年 10 月 30 日～11 月 3 日(5 日間)

**場所** 北海道大学クラーク会館(北 8 西 8)

**上映作品** 長編作品、短編プログラム  
活弁企画、環境プログラム等

全 10 プログラム 31 作品を上映、いずれも広く国内外の作品を選定する。



## 当日運営の様子 広報活動



## 会場設営・会場装飾



## 受付



## 会場の様子



## 2009 オープニング・イベント

オープニング特別上映

『つみきのいえ』×『日まわり草』～短編アニメーションの世界へ～ (入場無料)

日時:10月30日 18:30～19:15

『つみきのいえ』 アカデミーR賞を受賞した加藤久仁生監督作品

『日まわり草』 松田美那子さんの九州大学修了作品

(アヌシー国際アニメーション映画祭学生部門公式作品)を上映!

映画館では観られる機会が少ない短編アニメーションの持つ魅力を伝える。

## 活弁士 in 北大映画館

活弁士とは・・・

映画がまだ活動写真と呼ばれていた昔、映画にはセリフも BGM も”音”は何もついていませんでした。そこでスクリーンの脇に立ち、語りによって映画を生で表現していたのが活弁士！懐かしくて新しい、極上のエンターテインメントを体験してみませんか！？

### ・英語活弁 11月2日 18:30-21:00

留学経験のある麻生子八咫さんによる英語の活弁

「英語活弁」英語で味わうチャップリンの笑いと感動の世界

### ・親子活弁 11月3日 13:20-15:50

麻生八咫さん・子八咫さんによる「親子活弁」2人の掛け合いが光る！

- 洋・邦・アニメのよくばりプログラム





## 生活協同組合コープさっぽろ

「コープさっぽろの環境事業のご紹介」  
環境推進室 室長 吉田 洋一 氏

### コープさっぽろが環境のとりくみを強化した理由

#### 発端はエコプロジェクト 21

- ・環境問題への取り組みは組合員の要望
- ・環境課題はコスト×
- ・生協という強みを生かし事業と環境の融合
- ・ISO14001 の目標設定
- ・何よりも環境問題は切羽詰った問題  
(異常気象、温暖化など)



### 全道レジ袋有料化

- 2月29日 理事長とイオン北海道様へ訪問
- 4月8日 北海道ノーレジ袋運動を進める連絡会発足  
消費者団体・行政、自治体・業界の三者で構成
- 6月5日 苫小牧市、倶知安町で生協とイオン系で開始
- 7月5日 室蘭市、登別市、伊達市(洞爺湖サミット)
- 10月1日 生協は全道で一斉に開始
- 年度末までに141市町村(180市町村中)
- 人口比では95%まで広がった
- これだけの短期間で、全道に広がったことは驚異的なこと



### コープ未来(あした)の森づくり基金設立

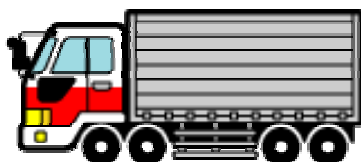
レジ袋を辞退すると3ポイントから1ポイントへ、さらに0.5ポイントを「コープ未来の森づくり基金」へ寄付

- 年間2500万円の植樹関係の活動資金が出来た
- 運営委員会をつくり基金を運営(委員長北大農学部柿澤先生)
- 植樹:全道7地区で組合員の森との  
ふれあい実現
- ぎょれんさん(600万円の寄付)との連携強化
- 育樹:この作業を森林事業者等に委託できた
- 助成金:小額助成10団体、高額助成2団体(500万円)



### エコセンターの建設と稼働

- 自社の資源物を自社の静脈物流を使って回収するという新たな試み
- お店などで出る資源物と組合員さんが持ち寄った資源物を確実に再生利用することで、資源のムダやCO2の排出を削減
- CO2の新たな排出とコストを減らすため、静脈物流を利用
- 経営的にもエコセンターとして剰余を出す



## エコセンター(江別市)



### エコセンターでの処理と再生利用 ~ 回収した資源の流れ ~

#### 回収(トドック、店舗、事務所)

- ・圧縮・・・新聞紙・チラシ、週刊トドック、内袋(ポリ袋)、紙パック、ダンボール、結束用バンド
- ・減容処理・・・発泡トレイ、発泡スチロール
- ・一時保管・・・アルミ缶、天ぷら油(廃食油)

#### 専門業者に売却

- ・再生紙
- ・再生プラスチック
- ・再商品化委託(BDF = バイオディーゼル燃料)



### BDF でトドック走行 CO2 削減!

- ・組合員からの回収量の推移(店舗 2000 本対宅配 9000 本)  
店舗でも、もっと集まる!
- ・走行台数  
実験走行 3 台(08/05)  
本格展開 105 台(09/06)  
そして 240 台(09/09)
- ・CO2 削減量  
昨年 23t  
本年当初予測 440t  
最終予測 713t



### 宅配での新たな挑戦

7月7日から新たな回収

それまでの週刊トドック、内袋、紙パックに加えて古新聞、ダンボール、トレーの回収を開始

目的: 組合員サービス向上、利用者定着、再資源化率の向上

### トレー20%削減

- ・07年度対比 20%削減の目標設定  
年間 1 億 6000 万枚以上、996 トン使用!
- ・紙トレー、スタンド袋、軽量化、ビニール詰め、  
個包装、裸陳列
- ・08年度は 10%削減で未達成、09年継続課題





## ノートレーパックの導入

札幌市ゴミ有料化にあわせて生鮮センターに導入、ただしこれだけではトレ-10 トン約 1%の削減にしかない



## 今後の取り組み

### 食品残渣の飼料化でリサイクルループを目指す

- ・店舗で発生する食品残渣量 約 4000 トン / 年
- ・石狩食品工場 約 2200 トン / 年
- ・これで飼料を製造 (黒麹菌でリキッド飼料に)
- ・鹿児島 の源麴研究所で実現、良質の肉が取れる
- ・農家に養豚を行ってもらい、豚肉は生協で販売



### 問題点

- ・食品残渣回収にかかる費用と肉の販売のバランス
- ・養豚業者の発掘

## 大学との連携の強化

- ・室蘭工業大学 (2008/9/12) との共同研究
- ・店舗の建設における CO2 50% 削減
- ・生産施設における CO2 30% 削減
- ・CFP の研究と実験
- ・昨年 9 月末にマンチェスター大学訪問、
- ・TESCO との共同研究の成果を聞き取りに
- ・東京海洋大学 (2009/3 から開始予定) との共同研究
- ・物流の最適化と CO2 削減



## 家庭からの CO2 排出削減

### CO2 排出量の削減を幅広く

- ・産業、運輸部門は減少気味
- ・業務その他 (小売業含む) と家庭部門は増加傾向

生協は組合員組織、何とかできるかも  
組合員の協力で解決したい

- ・家庭からの CO2 排出量の測定 (早稲田環境研究所と共同研究)
- ・標準値との比較で削減量が分かる
- ・削減量を組合員から購入し、外部に販売することは可能か? 事業化
- ・これを経産省の補助金を受けて実証中
- ・1 万人登録を目指している

シロクマランドで皆さんも登録を!

連絡先: 生活協同組合コープさっぽろ  
TEL 011-671-6620 FAX 011-671-5752  
URL <http://www.coop-ecolog.jp/>

「弊社が取り組んでいる社会貢献活動  
および環境保全活動」

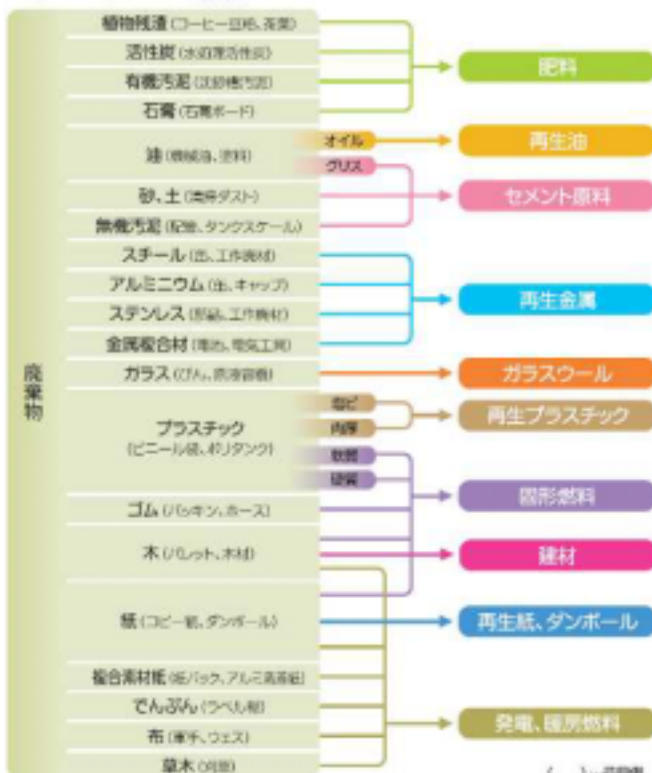
広報・CSR 推進部  
空閑 将吾 氏 三井 由貴子 氏

環境にやさしい企業を目指して～札幌工場～

ゼロエミッション：  
工場が発生する全ての廃棄物をリサイクル。  
天然ガスへの切り替え：  
ボイラー燃料を、クリーンな燃料である天然ガスに  
切り替え。



ゼロエミッションの内容



環境にやさしい企業を目指して～環境負荷の削減～

二酸化炭素は排出量の削減

- ・天然ガスへの切り替え
- ・PETボトルの自社成形
- ・エコドライブ
- ・省エネ自販機の導入
- ・クールビズ・ウォームビズ



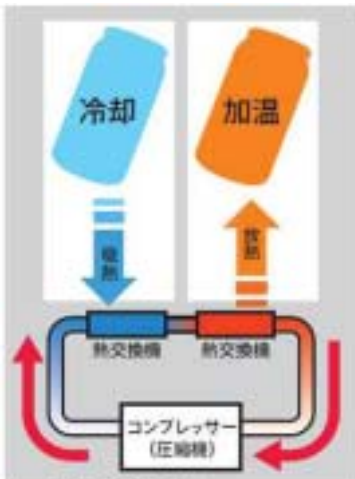
### 空き容器の回収・リサイクル

自動販売機の横に設置した空き容器回収ボックスから回収した空き容器は、自社又は専門の業者により材質別に分別され、リサイクルしています。



### 環境にやさしい企業を目指して～省エネ自動販売機の導入～

全稼働台数の内、既に95%が省エネ自動販売機ですが、今年市場に投入する約4,000台の全数を、さらに省エネの進んだ**ノンフロン・ヒートポンプ自動販売機**とします。2008年より、通常の自動販売機に比べ、消費電力を40%削減した「E40(イ-フォー-ティ)」も導入しています。



ヒートポンプの仕組み



### 社会貢献活動～自動販売機からできること～

自販機に「住所表示ステッカー」を貼付。

事件・事故など緊急時に通報する際、場所を特定ができるよう取り組んでいます。

地域のネットワークを支える「電光掲示板付自動販売機」の展開

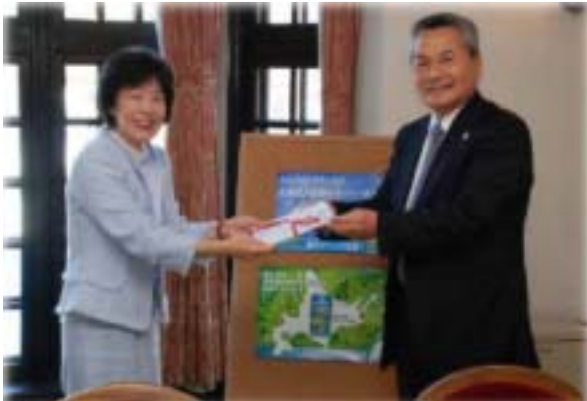
- ・各市町村と「防災協力協定」を締結し、災害時には災害情報や機内の飲料を無償提供する「防災協力自販機」として活躍中。(73市町村 / 229箇所)
- ・電光掲示板付自動販売機を利用し、道内の道の駅などで「おしらせ道ねっと」として情報を配信。(58箇所)
- ・各警察署と連携し、「防犯ほっとインフォメーション」で、防犯情報などを配信。(186台)





### 社会貢献活動～製品を通して北海道にできること～

2007年より、北海道の自然保護活動を応援するため、北海道限定製品「ジョージアサントスプレミアム」の売上の一部を、販売数量に応じて北海道に継続的に寄附。



### 環境教育～未来を担う子供たちにできること～

- ・森に学ぼう「わくわく体験ランド北海道」の開催

2006年より毎年、当別町(道民の森)の「コカ・コーラの森」で、自然とふれあうことの楽しさを体験する取り組みを行っています。

- ・環境美化活動・環境イベントに参加

地域の環境美化活動や環境イベントに積極的に参加しています。



- ・円山動物園を舞台に「環境協働事業」の協定を札幌市と締結(2008年4月)
- ・円山動物園内に「nature cafe EARTH(ネイチャーカフェアース)」をオープン(2008年7月)。  
地産地消をテーマにしたメニュー、環境に関する情報発信、参加型体験イベントを実施。



・「水を取り扱っている企業だからこそ、水の大切さ・環境を守る大切さを子どもたちに知ってほしい」という願いのもと、小学生を対象に水の大切さについて学ぶ  
環境出前授業「もっと知ろう水のこと。」を全道各地で実施。



### 環境にやさしい製品を～地産地消を応援～

「おいしい+環境にいい」を実現した新ウォーターブランド「い・ろ・は・す (I LOHAS)」を発売。  
「選ぶ・飲む・しぼる」という簡単なアクションを通じて、消費者が簡単にエコに参加できるスタイルを提案。

#### 1. えらぶ

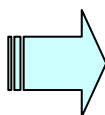
「清田ふるさと遺産」に選ばれている  
「清田の天然水」を使用。  
札幌市清田区ちか 300mから採水  
硬度.29 だから、まるやかでおいしい。



#### 2. のむ

#### 3. しぼる

国内最軽量ボトル(12g)使用、当社従来品と比べ、40%の軽量化が実現。  
これを二酸化炭素排出量に換算すると、年間約3000トンの二酸化炭素を削減可能。  
弊社調べ(2009年3月時点 / 国内製造品500mlPETボトル対象)  
出典: 「PET ボトルのLCI データ分析調査報告書」(PET ボトル協議会・2006年11月)



## ～北の大地とともに～

連絡先 : 北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
TEL 011-888-2135 FAX 011-884-3832  
URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

会場:アースカフェ・インザループ(札幌市北区北14条西3丁目ル・ソレイユ1階)



### 事例発表者、参加者大募集！！

(エコ・カレッジ通信、開催当日の様子はウェブサイトからご覧いただけます)

詳しくはこちらまで

作成:北海道 GPN 事務局(担当 大内)

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西14丁目2-3

連絡先:TEL 011-222-0234 FAX 011-222-0235

E mail : [staff@hokkaido-gpn.org](mailto:staff@hokkaido-gpn.org)

URL : <http://www.hokkaido-gpn.org/>